



早咲きの桜も目に嬉しく吹く風に春の香を感じる三月となりました。皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。巣立ちの季節を迎え、子ども達の未来の幸せを思い三島の発展を心に誓う毎日です。

市では、これまで「生みやすく育てやすいまち三島」を目指して様々な取組みを行ってまいりました。保育料・医療費の助成、施設の充実、相談窓口の設置など物心両面にわたって若い親御さんの育児を応援するとともに「子どもは地域の宝事業」など子育てをご近所が温かく支援する環境の醸成にも努めています。そして何より、生まれてくる子ども達が将来にわたって三島に住み続けることが出来るよう、雇用の確保を大きな課題として農・商・工業等あらゆる産業が元気になるよう、持続可能な発展を目指し市政運営を進めています。少子化の脱却という国家の命題は一足飛びに解決するものではありません。できうる限りの手を尽くすのが政治の役割ではありますが、虐待など昨今の悲しいニュースを見聞きしていると、まずは子ども達が生まれ育っていくことを共に喜び合う社会全体の空気を取り戻すことが大事ではないかと感じます。

子育てに限らず、誰もが自分なりの幸福をかみしめる、心身にゆとりを持てる暮らしを実現していくことを安心・安全なまちづくりの目標として、令和5年度も積極的に取り組んでまいります。

『明るく元気な、笑顔あふれる三島』私の就任当初からの変わらぬ想いです。

三島市長 豊岡 武士

三島市健幸づくりアプリ「KENPOS (ケンポス)」

三島市では、健幸都市の実現に向けて、市民が自らの健康を管理し健康づくりに取り組むことができる仕組みとして、昨年12月からWEBサービスアプリ「KENPOS」を導入しました。

運動、食事、睡眠などを楽しく記録して、より活力あふれる生活に。皆さまの「健幸」を応援するためのサービス、「KENPOS」を、是非ご活用ください。

この度、アプリ導入を記念して「健幸づくりアプリ運用記念講演会～健康寿命をのばす運動習慣～」を開催します。NHKの番組「みんなで筋肉体操」で人気の、順天堂大学健康科学部先任教授・谷本道哉氏を講師にお迎えして、「運動」の大切さ「筋力アップ」の大切さをデータや参加型ワークを通じて分かり易くお話します。

健幸づくりアプリ運用記念講演会

日時：令和5年3月24日(金) 午後2時～4時

会場：三島市民文化会館 小ホール

定員：340人 ※申込多数の場合は抽選

対象：市内在住、在勤または在学の方

参加費：無料

申込み：3月10日(金)まで

問合せ：三島市民体育館 055-987-7570

※当日は、健幸づくりアプリ「KENPOS」についての説明もあります。

見える化で
便利に日々
の健康管理

ポイントを
貯めて好きな
景品に交換

三島市長 〒411-0035 三島市大町 2-14-20
豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>

令和5年度一般会計予算案

総額 **424億8000万円** (前年度比8.4%増)

2月14日～3月15日開催の2月定例会において令和5年度の当初予算案をはじめとする諸議案の審議をお願いするにあたり、市長として市政運営に対する所信の一端を申し上げます。

感染症拡大や物価高騰など、世界の動向がダイレクトに影響してくる激動の時代においては、的確な判断と素早い決断、確実にやり遂げる実行力が求められます。まずは、5年先・10年先を見据え、市民生活をしっかりと支えていくため副市長二人制を導入し、行政課題に迅速かつ的確に対応し、重点施策を着実に推進するための体制強化を図ってまいります。そして、三島駅南口東街区再開発による魅力と活力の向上、大場地区の土地区画整理事業の推進、更なる企業誘致と工業用地の確保、行政や中小企業のデジタル・トランスフォーメーション推進による「デジタル田園都市」の実現など、スピード感を持って挑戦し続けることが、三島市の持続的な発展に結ばれていくものと確信し、施策の検討を進めてまいりました。

こうした施政方針に基づき、令和5年度の一般会計の規模は総額、424億8,000万円で、前年度当初予算に比べ8.4%増の過去最大の規模となっております。お諮りしたすべての施策は、精神的・身体的・社会的に良好な状態である「ウエルビーイング」の実現という大きな目標を達成するためのものです。誰もが幸せを実感し「三島に生まれてよかった 育ってよかった 暮らして良かった」と思っただくために今何が必要か、子ども達の未来のために今何をすべきかを真剣に考えて編成いたしました。

昨年12月市民の皆様からの負託を受け4期目の三島市政を執るにあたり、市民の皆様からの大きな期待に応えるべく、これからの4年間のまちづくりがより一層魅力的で持続的な三島市の発展に繋がるものとなるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を改めてお願いする次第です。

昨今の社会経済情勢から、以下の点に十分に留意した予算編成で市議会2月定例会にお諮りしています。

1 事業見直しの徹底

事業の優先度を明確にし、市民の生命・財産を守る事業やより効果が高い事業にヒト・モノ・カネを集中できるよう、事業の廃止・凍結・縮小など大幅な見直しを図る。

2 働き方改革に沿った事業の見直し

事業の必要性を十分に精査し、真に必要と判断した事業についても、従前の手法で実施するのではなく、「スマート市役所」として、常に作業効率の向上を図る。

3 経費節減の徹底

すべての事務事業には、市民の皆様々に納めていただいた大切な市税が使われていることを念頭に、一般行政経費については、光熱水費や物品価格の高騰があることを踏まえ、内容を見直すなど最小限とし、義務的経費についても、真に必要とするものを十分精査する。

4 持続的発展に向けた取組

三島市の将来的な発展に繋がる事業については、新規提案も含め積極的な取組に努める

5 最新情報の収集

新たな政策決定がなされたものや、国・県の予算案、制度改正等が判明したものについては、適宜修正するよう動向を注視し、最新情報の収集を的確に行う

6 特別会計・企業会計について

企業的性格を十分に発揮した適正な収入の確保とより一層の経営の合理化による経費節減を図り、独立採算の原則を順守する。なお各保険料や使用料の収入未済は、負担公平の原則を崩すことから、その縮減に努める。